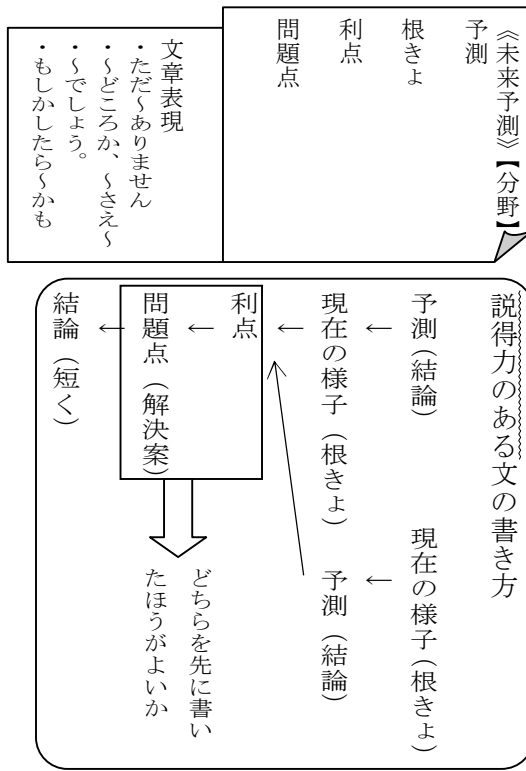


# みんなの未来予測を未来に送ろう

めあて

タイムカプセルに入れる五十年後の未来予測を、より説得力のある文に書きかえよう。

教科書から学ぶ説得力のある未来予測



友達に学ぶ説得力のある未来予測

※ パネルディスカッションの中で出てきたよい例を書き留めておき、提示する。

11 / 11 時間目 指導略案

使用するワークシート：⑩及び⑪

活動のねらい

これまでの学習を踏まえ、自分の未来予測文をより説得力のあるものに書きかえることができるようにする。

1 めあてを確認し、学習の見通しをもつ。

2 これまでの学習から、説得力のある未来予測文の特徴を確認する。

- ① 教材文から学んだ四つのポイントや表現の工夫を確認させる。
- ② パネルディスカッションで出た説得力のある文の特徴を確認させる。

3 各自の未来予測文を書きかえる。

◇ 各自で書きかえさせ、ペアやグループで読み合いながらよりよいものにする。

評価 説得力のある文章になるよう、これまでの学習を生かして書きかえることができる。

4 単元全体を振り返り、自己評価をする。

- ① 単元の振り返りを行い、自己評価をワークシート⑩に書かせる。
- ② 自分なりに成長したことや、この学習で身に付けたもの、楽しかったことなどを全体の場で発表させる。(教師が、児童の気付かない部分を補足して紹介してあげるとよいでしょう。)

この学習の終末を考える

- ・ 出来上がった未来予測を廊下等に掲示し他の学級の児童にも見ってもらうようにする。
- ・ 全員の未来予測を冊子にまとめ、他の学級や学年に見てもらう。  
(数冊作っておけば、次年度の参考として残しておくこともできる。)
- ・ 朝のスピーチ等で未来予測を発表させる。(パネラーとして発表していない児童に発表の場を設定する)

本単元を後の単元に生かす

『未来へのメッセージ』を書こうの新聞や文集をつくる単元において今回の未来予測参考にして書かせたり、他の学習で、本単元で学んだ書き方を活用させたりして、習得と活用をくり返しながらい今回学んだ知識・技能の習得につなげることが出来ます。